

栃木県の献腎移植について

～登録の方法と助成金について～



公益財団法人栃木県臓器移植推進協会

〒320-8501 宇都宮市塙田1丁目1番20号

栃木県保健福祉部健康増進課内

電話：028-623-3086 FAX：028-623-3920

ホームページ：<http://www1.biz.biglobe.ne.jp/~tochi-zo>

栃木県の献腎移植について

腎臓移植とは？

腎臓移植とは腎不全に対する唯一の根治療法であり、法律で保障された治療法です。移植された腎臓が十分に機能すると、透析治療から解放され、健康な人と同じような生活が可能です。

腎臓移植をするとどうなるの？

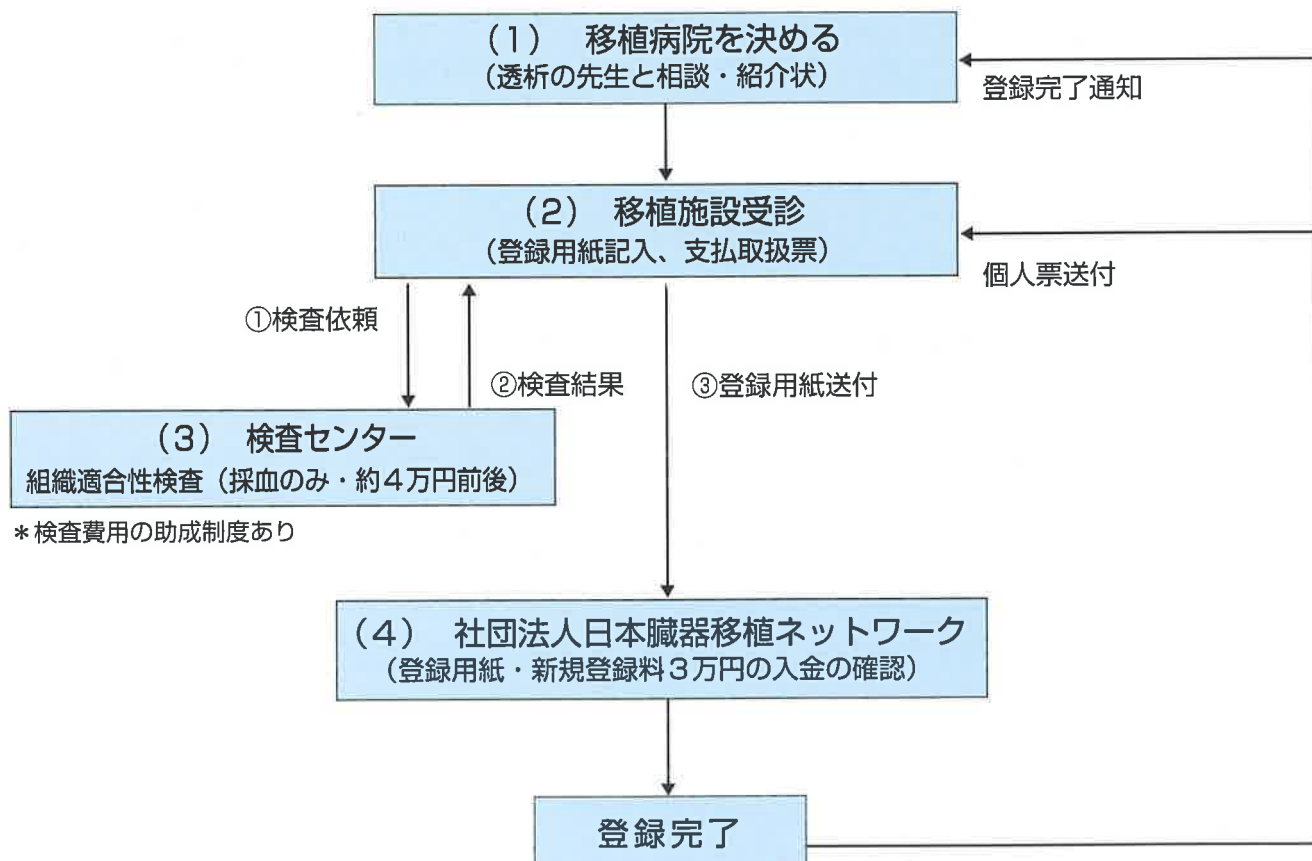
透析治療からの解放をはじめ、食事や水の制限・生活の制限などの緩和、女性の妊娠出産、小児の成長・発育、合併症の改善（皮膚のかゆみが無くなるなど）などが期待できます。
しかし、拒絶反応を防止するために一生免疫抑制剤を服用しなければなりません。
また、その薬の合併症や副作用のおそれもあります。

腎臓移植の種類

献腎移植—脳死又は心臓が停止した死後の腎臓を1つずつ2人の患者さんに提供をして行う移植。
問題点：提供が不足しているので何年も待機しなければならない。
生体腎移植—健康な近親者の2つある腎臓のうち片方を提供してもらい行う移植。
問題点：健康で提供できる方がいなければ移植を受けることができない。

献腎移植新規登録について

献腎移植を希望する場合は、（社）日本臓器移植ネットワークに登録しなければなりません。栃木県での手続きは次のようになります。



(1) 移植病院を決める

栃木県で腎臓移植ができる病院は下記の施設です。

自治医科大学附属病院 腎臓センター外科 0285-44-2111

獨協医科大学病院 第二外科 0282-86-1111

透析の先生とよく相談し、紹介状を書いてもらいます。

(2) 移植施設を受診

健康保険証・障害者手帳・透析施設からの紹介状を持参します。

(3) 検査センターで組織適合性検査を受診

栃木県の腎臓移植のための検査センターは下記の施設です。

自治医科大学附属病院 輸血・細胞移植部

獨協医科大学病院 臨床検査部

費用は施設によって異なりますが、おおよそ4万円前後かかります。

*** 公益財団法人栃木県臓器移植推進協会では組織適合性検査費用の助成を行っています。**

対象

① 県内在住者

② (社) 日本臓器移植ネットワークに登録した方

提出物

次の書類を公益財団法人栃木県臓器移植推進協会に提出してください。

① 「組織適合性検査費助成金申請書」 (検査センターや移植病院にあります。不明の場合は下記の栃木県臓器移植推進協会へご連絡ください。)

② 組織適合性検査の領収証の写し

③ (社) 日本臓器移植ネットワーク移植希望登録完了通知の写し

助成金額

組織適合性検査費用の3分の1を助成するものとし、1万円を上限とします。

提出先・問い合わせ

〒320-8501 栃木県宇都宮市塙田1丁目1番20号

栃木県保健福祉部健康増進課内

公益財団法人栃木県臓器移植推進協会

電話 028-623-3086

(4) (社) 日本臓器移植ネットワークへ登録

登録料は3万円です。次の年からは更新料として毎年5千円かかります。

登録料及び更新料は医療費控除の対象となります。

また、生活保護世帯の方や生活保護世帯以外の生活困窮者の方は費用が減免になります。詳しくは(社) 日本臓器移植ネットワークのパンフレットを参照してください。

献腎移植の費用は？

腎臓移植手術は健康保険で認められていますのでほとんど負担はありません。

移植が成立するとコーディネーター料(臓器提供に至るまでの諸経費)10万円と搬送費用の実費は移植を受けた本人が負担します。

生体腎移植を希望する場合は？

まず透析の先生に相談してみましょう。

移植施設の先生も相談に応じます。栃木県で腎臓移植ができる病院は下記の施設です。

自治医科大学附属病院 腎臓センター外科 0285-44-2111

獨協医科大学病院 第二外科・腎臓移植 0282-86-1111

生体腎移植の医療費は？

提供者の医療費は移植を受ける方の医療費として請求されます。

腎臓移植手術・腎臓摘出手術は健康保険で認められていますので提供者・移植を受ける患者さんともにほとんど負担はありません。

検査などによっても異なりますので、移植施設にご確認ください。

県内在住移植患者（献腎移植・女性）の体験談

『移植手術をしてからは、肌のカサカサ感も痛痒さも消えて、自然と汗がでるようになり、身体が軽くなった気がしました。食事がとてもおいしくなり、以前は飲み込むのに苦労していたのに、不思議なくらいにスルッと喉を通ります。ごはんが甘くておいしくて、おかずがいらないくらいです。これが健康！普通の感覚なんだ！と実感しました。

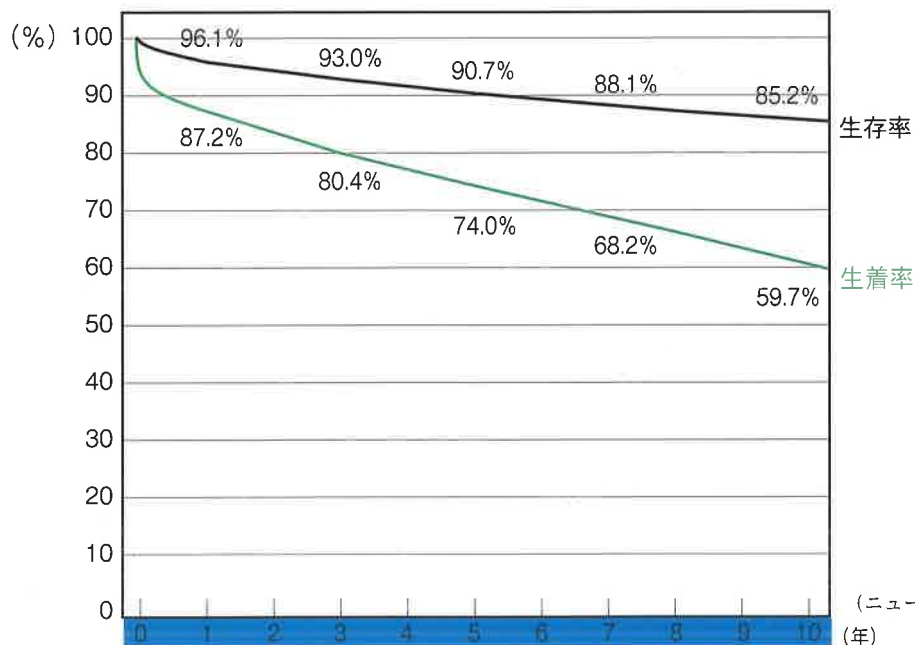
移植によって、1日おきの通院から離れ、自分の時間が増えたこと、これからあらゆる可能性にチャレンジできることは、とても素晴らしいことだと思います。』

移植の成績

(社)日本臓器移植ネットワーク資料より

献腎移植の生存・生着率

n=2,649(1997.10~2010.12)



(ニューズレター'11vol. 15より)

(年)